

2013年10月31日

マツダ株式会社

2014年3月期 第2四半期 決算発表

主な質疑応答

1. **売上や利益で、上期に比べ下期の改善幅を厳しく見ているようだが、その理由は何か。**
 - A. 下期は米国財政などの不安定要素、タイなどの不安定な需要動向等により、販売計画は期初見通しから僅かに下げている。また、下期の為替前提は、ドル 95 円/ユーロ 125 円と慎重に見ていること、さらに旧型 Mazda3 の売り切り費用やメキシコ工場の立上げ費用等の増加を織り込んだため。

2. **消費税増税に伴う日本市場での駆け込み需要をどう見ているか。**
 - A. 自工会として政府にお願いしているが、取得税軽減などにより消費税引き上げに伴う駆け込みやその反動減を抑制していただきたいと考えている。年末の税制改正議論の動向を見極めながら、対応策を検討していく。日本市場での駆け込み需要は、現時点では織り込んでいない。

3. **設備投資の通期計画が100億円増えているがこの理由は何か。
メキシコ工場の準備状況はどうか。**
 - A. 設備投資 1,300 億円から 1,400 億円へ 100 億円の増加は、主にメキシコ工場への投資の為替前提変更(ドル 90 円→95 円)によるもの。
下期に設備投資額が多くなっているのは、設備検収後の支払いが下期に集中するため。
工場稼働に向けた準備は順調で、2014 年 3 月期の第 4 四半期には計画通り稼働予定。